

# 令和4年度 経済産業政策の重点（案）

- **コロナ対応としての人流抑制が、一部業種の事業に甚大な影響。**こうした状況に苦しむ事業者に対し、足下で必要な**事業継続・事業再構築等のための支援を着実に実施しているところ。**
- こうした足下の対応に限らず、コロナ禍を経て、**経済的な豊かさは、健康に限らず環境・経済安全保障・分配など多様な価値と同時に確保・実現されることが求められるようになっており、こうした視点が中長期的な成長分野となっている。**各国では、成長戦略として、**社会課題を取り込んで経済と一体的に解決を図る産業戦略**を策定・実行。企業の経済活動は、こうした官民連携による新たな**国際競争の時代**に。
- 日本としても、環境・安保・分配といった**ミッション志向**<sup>※1</sup>で、**ワズスペンディング**<sup>※2</sup>を前提としつつも**大規模・長期・計画的な財政政策**や、規制の**緩和だけでなく強化も視野に入れた規制改革、標準化**等、**政策ツールを総動員しながら官民がともに垣根を越えた挑戦**に取り組んでいくことが重要（**経済産業政策の新機軸**）。  
※1： ミッション志向：産業分野や官民の縦割りとをわけて、社会で求められている課題解決や価値の実現を目指す考え。  
 ※2： ワズスペンディング：政策効果が乏しい歳出を徹底して削減し、政策効果の高い歳出に転換するもの。

## コロナ禍の経済情勢に応じた適確な対応 ～中小企業・小規模事業者・個人事業主等に対する事業継続・再構築などに必要な支援～

- ▶ コロナ禍の事業者に対する資金繰り支援、月次支援金の給付、イベントの再開支援など、厳しい状況に直面する事業者が、足下で必要な事業継続のための支援を、着実かつ迅速に実施中。資金繰り支援については、引き続き万全を期していく。
- ▶ コロナの影響の長期化や最低賃金の引上げといった環境下において、中小企業・小規模事業者等の雇用・技術といった経営資源を活かし、事業価値の向上を実現するため、事業者に寄り添いながら①事業再構築、再生・承継、②生産性向上の支援や③取引適正化などを進めていく。

## コロナ禍を経て、新たな付加価値を中長期的に獲得し、成長を続けられる産業構造の構築 ～求められる「価値」の実現と「経済」の好循環の同時達成～

### 「経済」×「環境」の好循環

#### ～グリーン成長戦略・エネルギー基本計画～

- (1) 電池・水素・洋上風力などグリーン成長の加速**
  - ▶ 電池の大規模製造立地を促進し、国内サプライチェーンの強靱化を支援。持続可能性の向上に向けた措置も検討。
  - ▶ EV・FCV等の大胆な導入促進と併せて、充電・充てんインフラ整備とサプライヤー等の構造転換を支援。
  - ▶ 水素・アンモニア・洋上風力・太陽光などの導入目標、技術開発、国際実証、インフラ・系統整備、導入支援、規制改革等による産業育成や社会実装の推進。原子力安全性の向上。
  - ▶ 環境投資資金を呼び込むための指針の策定や開示の充実。
- (2) IaaS<sup>1</sup>・需給構造の強靱化によるS+3Eの実現**
  - ▶ IaaS<sup>1</sup>・利用効率向上や、非化石IaaS<sup>1</sup>・使用拡大・需要最適化など需要側からカーボンプラットフォームに資する制度的措置の検討。
  - ▶ 自由化が進展する中、脱炭素社会の構築に向けて、その土台となるIaaS<sup>1</sup>・資源の安定供給を確保する仕組みの構築。
  - ▶ 保安分野における技術の進展や人材不足への対応等を踏まえたスマート保安の促進・保安制度の見直し。
- (3) 成長に資するカーボンプライシング**
  - ▶ 非化石証書やJ-クレジットに係る既存制度を見直し、自主的かつ市場ベースでのカーボンプライシングを促進。

### 「経済」×「安保」の同時実現

#### ～経済安全保障/サプライチェーンのレジリエンス～

- (1) 重要技術を「知る」「守る」「育てる」**
  - ▶ 重要技術の「コア」を把握。輸出・投資管理等の機微技術管理強化の具体的検討・推進、機微な技術シーズをニーズに繋げて支援する仕組みの検討。
- (2) 半導体・データセンター**
  - ▶ 通常の支援を超える特例制度を含め、サプライチェーンを含めた産業基盤全体に資する支援の在り方を検討。半導体設計・技術開発の強化や通信基盤の構築促進。
  - ▶ データセンターの最適配置に向けて、立地計画を策定し、各種インフラ等の基盤整備を支援。
- (3) バイオ・医療**
  - ▶ ワクチンも含めたバイオ医薬品の国内生産力強化、創薬ベンチャーの育成、合成生物学の産業化推進。
  - ▶ 感染症・災害に備えた医療機器開発体制の強靱化。
- (4) レアアース等の重要資源の確保**
  - ▶ 調達リスクや需要の急変動リスクを低減するためのリスクマネー支援の強化や、海外権益獲得の強化。
  - ▶ 国産海洋資源開発の推進（メタドレート等）

### 「経済」×「分配」= 包摂的成長

#### ～誰もが実感できる成長の実現～

- (1) 人づくり**
  - ▶ 価値を創出する人材づくりに向けた、EdTechを活用した個別最適な学びと創造性を育む学際的な学び(STEAM学習)の事例創出・普及と教育行政改革の推進。
  - ▶ 年功序列の見直しやリテラシー強化など、人を資本とみなす経営の実践と対話促進。
  - ▶ 創造性を磨くための出向起業やリカレント教育の促進。デジタル人材育成を推進。
- (2) 強靱な地域経済**
  - ▶ 兼業・副業の活用等による人手不足等の地域課題解決・イノベーション促進。
  - ▶ 地域特性を活かしたDX・投資推進。
- (3) イノベーション・スタートアップ**
  - ▶ 起業マインド醸成に向けたオープンイノベーションの促進、非上場市場も含む資本市場活性化。
  - ▶ 海外展開も視野に入れた大規模スタートアップの育成。

### 「経済」×「健康」の同時実現

#### ～民間による健康ITシステムへの投資促進～

- (1) 健康への投資拡大**
  - ▶ ESGとしての健康投資拡大に向け、健康経営のスコア拡大（自社従業員だけでなく社会全体へ）や情報開示促進。
- (2) ヘルスケア産業の社会実装促進**
  - ▶ ヘルスケア産業について医学会等と連携して予防・健康づくりの効果のEVIDENSを構築。
  - ▶ 認知症・心の健康・女性の健康分野での社会実装に向けた医学会や事業者等による評価基準・ガイドラインづくり等の促進。
- (3) 勝てる産業育成・海外展開**
  - ▶ 医工連携、創薬周辺産業底上げ等の日本型エコシステムの構築や海外展開。プログラム医療機器や、ロボット介護機器等の重点支援。
  - ▶ 個人の健康等情報(PHR)を活用したサービスの普及・促進に向けた環境整備。
  - ▶ 「いのち」をテーマとする大阪・関西万博の推進。

## 「デジタル」前提の経済・社会運営 ～新たな行政・アーキテクチャの在り方～

- (1) データ主導の経済・社会システムや産業DX（アーキテクチャの再設計）**
  - ▶ デジタル庁と連携し、契約・決済・税務、保安、ドローンなどの重点分野において、必要な制度、システムやデータの整備・利活用・普及の在り方を一体的に見直し。
  - ▶ IoT技術・自動配送ロボット等を活用した流通・物流の効率化、サービス産業の設備稼働率・業務効率化による生産性向上等のデータ利活用による付加価値創出。
- (2) デジタル人材育成**
  - ▶ 民間事業者等と連携してコンテンツを整備し、課題解決型の学習やOJTを通じて実践的な学びの場の提供等を行うデジタル人材育成プラットフォームを構築。
- (3) サイバーセキュリティ**
  - ▶ 業界横断的な課題に対するガイドライン策定など、中小企業を含めたサプライチェーン全体での産業界の一体的な取組促進。
  - ▶ クラウド等によりオープン化した開発環境に対応する、検証のための投資の促進。
  - ▶ 日本の対策フレームワークが盛り込まれた国際規格の策定。

## 内外一体の対外経済政策 ～信頼あるバリュー・チェーンの構築に向けた戦略競争への対応～

- (1) 信頼あるバリュー・チェーンの確立**
  - ▶ デジタル化やサプライチェーン強化に対応した安定的な事業環境整備に向けた、DFFT、貿易保険や課税等の制度・ルール検討や国際連携。
  - ▶ アジアの実態に即したIaaS<sup>1</sup>・環境協力(トランジション)、ADXなど新興国企業等との協業や課題解決。
- (2) 自由貿易のアップグレード**
  - ▶ WTOルール・EPA等での公平な競争条件を確保する規範づくり。持続可能性・公正性のビルトイン。
  - ▶ 人権等「価値」への関心の高まりを踏まえた政策展開。

## 最重要課題：廃炉・汚染水・処理水対策/福島復興を着実に進める